

誰でも、手軽に、本物の炎が楽しめる暖房機

木質ペレットストーブ 100周年記念モデル発表会



上の添付写真は現行製品「ほのか」で、今回の100周年記念モデルとは異なります。

株式会社山本製作所（山形県天童市）は、10月26日（金）、二子玉川蔦屋家電にて、木質ペレットストーブ100周年記念モデルの新商品発表会を開催します。

燃料の木質ペレット（※1）は、間伐材や製材所で発生するおが屑が主な原料。食と環境関連機器のメーカーである当社でも、2003年より木質ペレットストーブの生産をスタートしました。

木質ペレットストーブは、東日本大震災の影響による再生可能エネルギーへの意識の高まりから、2011年以降、森林資源の豊富な地域から普及が進み、当社でも北海道や東北・北関東を中心に販売を進めてきました。

この度当社では、「手軽に本物の炎が楽しめる」「設置が容易（※2）」という木質ペレットストーブの特長を、上質な暮らしを志向する都市部の消費者にもお伝えしたいと考え、「洗練された美しいデザイン」「日常で使いやすい機能」をコンセプトとした、創業100周年を記念する新商品を発表いたします。

※1 木質ペレット

木質ペレットは約15年前より日本でも生産が始まった、100%木材由来の燃料です。全国のホームセンターやペレットストーブ専門店、インターネット通販などで販売されています。原料が森林の間伐材や製材所等で発生するおが屑などであることから、山間部地域ではエネルギーの地産地消や地方の雇用創出に貢献する燃料としても注目されています。

※2 設置が容易

木質ペレットストーブは排気ガスを屋外へ排出するための排気筒施工が必要ですが、基本的に壁や床への防火工事等が必要ないため、おなじく木を燃やす薪ストーブと比較して設置が容易です。

本製品の外装デザインは山形の家具デザイナーであるアトリエセツナ・渡邊吉太氏（※3）を起用。外装素材には、400年の歴史を持つ山形の鋳物師屋「菊地保寿堂」の鋳物と、柳宗理デザインのバタフライスツールやリオ五輪の卓球台製造で有名な「天童木工」の成形合板（※4）を採用しました。そして、国産ペレットストーブの最先端へ挑戦する新機能も搭載しております。まさに“made in 山形”と言える商品となりました。

この度の新商品発表会が初めてのお披露目となります。ご多忙のところ恐縮ですが、この機会にぜひ現物をご覧いただきたく、皆様のお越しを心よりお待ちしております。

※3 渡邊吉太氏

スウェーデンKONSTFACK留学後、東京にてフリーランスデザイナーを経て山形にアトリエセツナを設立。家具・プロダクト・店舗・住宅と、大小様々なスケールのデザインを手がける。

※4 成形合板

木材の薄板（単板）を何枚も接着剤で重ね合わせ、型（治具）に挿入し巨大なプレス機で圧力と熱を加えて成形した合板。

開催日時 新商品発表会：2018年10月26日（金）14:00～15:30（13:30より受付開始）
一般展示： 2018年10月27日（土）～28日（日）9:30～21:00

会場 二子玉川 蔦屋家電 2階 E-room2
〒158-0094 東京都世田谷区玉川1丁目14番1号
二子玉川ライズ S.C. テラスマーケット

お問い合わせ 株式会社 山本製作所（やまもとせいさくしよ）
担当者名：ソリューション事業部 遠藤

※画像や詳細情報などご入用の際には
こちらのメールアドレス等にお問い合わせください。
y-wakatsuki@yamamoto-ss.co.jp

TEL：0237-43-8814（携帯：090-6853-0729）

FAX：0237-43-8817

URL：http://www.woody-yamamoto.jp